平成28年9月30日現在

産学接続コースの基本情報について

1 コースの分類

分　類　名	プロライセンスコース

【参考】大阪発「産学接続コース」の類型

プロ育成教育コース・専門教育コース	・プロ育成教育コースは、全学年を通じて、学校と企業とで策定されたカリキュラムを履修することとなります。授業全部が産学共同のカリキュラムであり、その中には企業で実施する現場実習も含まれます。 ・専門教育コースは、学校で学ぶカリキュラムの中に、企業と共同で実施する研修が組み込まれたものです。研修は企業の現場で実施されます。
実践教育制度併設コース	・実践教育制度併設コースは、学校で学ぶカリキュラムとは別に、学校が独自に研修制度を設置しています。希望者がこれを活用して、実践的な産学接続教育を受けることができます。
プロライセンスコース	・プロライセンスコースは、指定養成分野において、国家資格等の取得に必要な教育のほか企業や業界のニーズを踏まえたより実践的な教育が実施されることが特徴です。

2 学 科 概 要

専修学校名	大阪こども専門学校	分野区分	教育・社会福祉
課程名	教育・社会福祉	修業年限	3 年
学科名	こども総合学科	学科定員数	720 名
学科開設年月日	平成 18 年 11 月 24 日	学科実員数	671 名
コース設置年月日	平成 27 年 4 月 1 日	推奨年度	平成 29 年度
当該学科の教育目標	「世の中の困難を希望に変える」をミッションとし、本学科は、学校教育法に基づき、保育の関連分野において活躍する人材を育成するため、必要とされる知識と技術を教授することを目的としている。		
就職を目指す職業	保育士・幼稚園教諭・施設職員		
入学案内への記載	3年間をかけ保育に関する幅広い知識をじっくり身に付けることができるカリキュラム。就職決定率は 100%。		

当該学科に対する学生のニーズ	当該学科に対する企業・業界のニーズ
保育業界での現場実習を通してより実践的な知識や技術を身につけ、希望する園・施設に就職したい。	保育分野について実践的な知識や技術を修得し、コミュニケーション能力も高い即戦力人材を獲得できる。

3 企業・業界との提携内容等（コースの内容） ※平成 28 年度実施内容

提携企業名（業界名）	社会福祉法人　山善福祉会　認定こども園　おとのは学園（保育園・幼稚園） 社会福祉法人　山善福祉会　認定こども園　豊原学園（保育園・幼稚園） 社会福祉法人　山善福祉会　いぶきの丘学園（幼稚園） 社会福祉法人　山善福祉会　認定こども園　さんすい学園（保育園・幼稚園） 学校法人　蛍池学園（幼稚園） 学校法人　庄内神社学園　庄内こどもの杜幼稚園（幼稚園）
コースの目標	・保育所の保育活動に参加し、乳幼児への理解を深めるとともに、保育所の機能とそこでの保育士の職務について学ぶ。 ・居住型児童福祉施設等の生活に参加し、子どもへの理解を深めるとともに居住型児童福祉施設等の機能とそこでの保育士の職務について学ぶ。
企業等との提携内容 ※両者の役割分担や共同作業の内容など	本校の教育方針を理解頂き、共に教育してくださる施設を選定している。また、実習の実施にあたり、生徒一人に対して一人の保育士が指導者として担当する体制をとることが可能な施設を選定している。
コース内容 ※企業現場実習など	実習の事前に、参加学生の調書をお渡しすると同時に実習内容や評価指標等について確認すると共に、生徒自身は事前のオリエンテーションを通して、実習内容等を理解把握する。なお、実習期間中は、本校担当教員が各施設を訪問し、生徒の学習状況について直接確認するとともに、実習担当者と情報交換を行う。 実習修了時には、実習担当者による生徒の学修成果の評価を踏まえ、担当教員が成績評価・単位認定を行う。 （実習内容） ・実習施設について理解させる。 ・保育の一日の流れを理解し参加させる。

	・子どもの観察や関わりを通して乳幼児の発達を理解させる。 ・保育計画・指導計画を理解させる。 ・生活や遊びなどの一部分を担当し、保育技術を習得させる。 ・職員間の役割分担とチームワークについて理解させる。 ・記録や保護者とのコミュニケーションなどを通して家庭・地域社会を理解させる。 ・子どもの最善の利益を具体化する方法について学ばせる。 ・保育士としての倫理を具体的に学ばせる。 ・安全及び疾病予防への配慮について理解させる。
提携契約期間	平成 28 年 4 月 1 日 ～ 平成 29 年 3 月 31 日
提携教育期間	2 年次:20 日間(160 時間相当) 3 年次:30 日間(240 時間相当) 計 50 日間 (400 時間相当)※推奨年度の実際の提携教育期間を記載
コース受講生の募集・選定方法	実習事前ガイダンスにて、実習規定や出勤に関する説明を行う。また実習を迎えるまでに必要な科目を履修し、必要出席数を満たしていることが条件となる。 必要に応じて面談や課題を実施し、フォローを行う。

履修認定	履修認定時間／総授業時間	賃金支払	企業評価の有無
有・無	450 時間／3120 時間	有・無	有・無

評価方法	学校	実習園の評価を踏まえ、学校の授業科目としての成績評価及び履修認定を実施
	企業	提携園による5段階評価を実施
学生への支援・配慮事項		学校:担任による学生ケア、実習前及び実習巡回時に面談の実施 実習先:園・施設側実習担当者による学生へのフォロー

4 卒業・就職後の早期離職防止のための対策(企業等における現場実習以外の対策)

卒業・就職後の早期離職防止のための対策(自由記述)
・本人の特性に合った園・施設選択のため、適性診断を用いた個人指導や卒業生を招いての就職ガイダンスの実施 ・同窓会ネットワークを活用した業界の最新情報提供のため交流会の実施

5 申請学科及び申請コースの就職状況又は見込(推奨年度の在籍生の卒業時の見込)

ア. 就職者数等	平成 27 年度	平成 28 年度(見込)
a.学科修了者数	161 名	198 名
b.「a」のうち、当該産学接続型職業教育の活用者数	161 名	198 名
c.「b」のうち、就職希望者数	149 名	198 名
d.「b」のうち、提携企業への就職者数	26 名	14 名
e.「b」のうち、提携企業と同業界への就職者数	147 名	198 名
f.「b」のうち、進学者数	1 名	0 名

イ. 主な就職先、業界等
社会福祉法人 光聖会 蓮美幼児学園／社会福祉法人 成光苑／社会福祉法人 吹田若竹会 南山田みどり保育園／社会福祉法人 博光福祉会／学校法人 三幸学園 ぽけっとランド

6 申請学科及び申請コースの中途退学の現状

ア. 中途退学者数・中退率
a. 中途退学者 62名(中退率 9. 4%) b. 平成27年4月1日在学者 657名(平成27年4月入学者を含む) c. 平成28年3月31日在学者 595名(平成28年3月卒業生を含む)
イ. 中途退学の主な理由
経済的理由
ウ. 中退防止のための取組
担任・カウンセラーを通してのカウンセリングなど個別のケアを実施 入学前オリエンテーションの実施

7　学校関係者評価の実施・公表

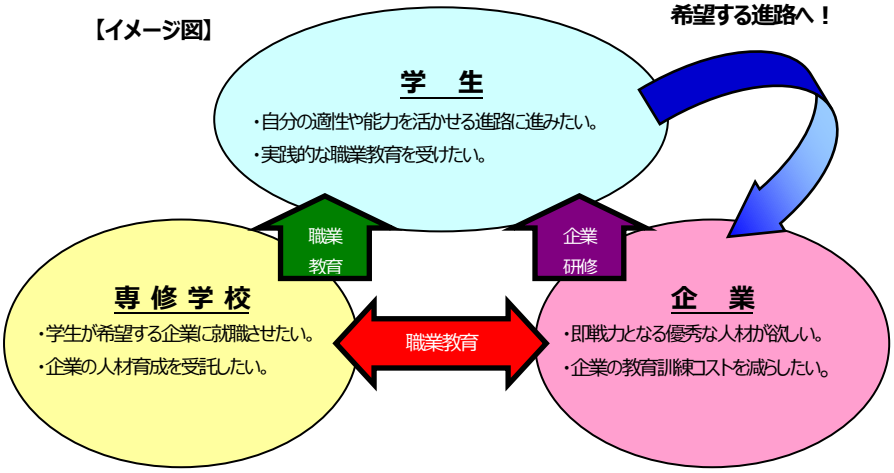
・学校関係者評価結果の公表先 URL：http://www.sanko.ac.jp/disclosure/

■大阪発「産学接続コース」とは

企業等が求める人材育成を専修学校が受託し、学生に就職などの「出口が見える」職業教育を提供し学生に就職などの「出口が見える」職業教育を提供する専修学校の学科のことです。

この中で、専修学校は、企業との職業教育協定を締結するなど、産業界との連携の中で業界に求められる人材育成を行い、学生には、現場等での実践的な経験等の得られる職業教育を提供していきます。

【イメージ図】



○大阪発「産学接続コース」の要件

1.専修学校と企業が「職業教育協定」を締結していること。
2.企業ニーズに沿った「職業教育カリキュラム」を作成していること。
3.企業における現場研修の場が提供していること。
4.労働法規などの法令を遵守していること。
5.専修学校と企業がコース修了生の評価を行っていること。
6.卒業者の早期離職防止のための対策を講じていること。
7.生徒等に対して進路選択に際して有益な情報を提供していること。
8.学校関係者評価を行い、その結果を公表していること。